

# 浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に  
志高く未来を切り拓く生徒の育成」

香美町立村岡中学校通信

No. 12 2020. 1. 7 (Tue.)

## 笑顔で Challenge & Change



あけまして おめでとうございます。いよいよ令和2年(2020年)がスタートしました。新年にあたって、皆さんはどんな目標を立て、希望を願い、夢への誓いを立てたのでしょうか。

1月7日、元気に登校してくる村岡中生の中に、特にさわやかな笑顔で心地よいあいさつをしてくれる生徒がたくさんいました。笑顔は元気を与え、元気をもらう活力です。心があたたかく穏やかになります。笑顔は人に恵みを与え、自分に幸せを招きよせる不思議な力があります。この一年、毎日笑顔で過ごせたらいいですね。

始業式では、「今年のテーマは『挑戦と変化』です。この一年、目標に向けて多くの成功体験、失敗経験を積んでください。楽しいことも辛いこともたくさん味わってください。その一つ一つの経験を生かすことが人の心の豊かさにつながっていきます。挑戦していくことで新しい自分に変化していくこと=Challenge & Changeの一年にしてほしいと願っています。」というメッセージを贈りました。

さて、2020年、3年生は新しい世界での自分づくりに挑戦です。2年生は最高学年としての学校づくりに挑戦です。1年生は先輩としての仲間づくりに挑戦です。いずれにせよ、挑戦するということは、前進・向上するということです。是非、笑顔でいられる一年に、挑戦していける一年にしていくことを心から願っています。

さて、以前全校集会で『ナイル川を渡るアリ』の話をしたことがありますが、同じような内容で『雁の群れの秘密』という話があります。

\* \* \*

「冬を越すために南へ向かう雁(がん=カモ科の渡り鳥)が、V字型の編隊を組んで飛んでいくのはなぜか?」…。なんとV字型で飛ぶと、一羽で飛ぶよりも7割も遠くまで飛べるそうです。前の雁が羽ばたくと、後続の雁のために上昇気流を作り出すことができるので、後続の雁は楽に飛ぶことができます。後ろの雁は、ガーガー鳴いて前の雁を励まします。先頭の雁は疲れてくると最後尾に回って別の雁と交代します。V字型の編隊から脱落しそうになっても、一羽で飛ぶと抵抗が大きいので、すぐに編隊に戻ってきます。群れの一羽が病気やケガで脱落すると、二羽の雁が助けるために、地上に降りてきます。この二羽は、脱落した雁が回復するか、死ぬまで一緒にいて、その後、新しい群れに加わるか、独自の編隊を作って元のグループに追いついていく、ということです。

\* \* \*

鳥ながらすごい話です。仲間同士、助け合って飛ぶことによって大きな力を作り出し、一羽では考えられないくらい遠くまで飛んでいくことができるのです。決して仲間を見捨てないのです。これは人間とよく似ています。同じ志を持ち、同じ目標に向かって進める仲間がいると、思っている以上のパワーを発揮することができるものです。雁の群れには、助け合う仲間意識と結束力があります。何より強い絆でつながっているのが雁の群れなのです。受験・入試を控えた3年生にとっては、これからが本場の正念場です。『受験勉強は、個人戦ではない』という言葉聞いた人もいます。「いやいや個人戦だろ、勉強は、自分の頑張りが結果につながるのだ。」こう考える人は多いと思います。もちろん間違いではありません。ただ、激戦の都市部の中学校や高校でも「みんなで頑張ろう!」という

学級で、合否ボーダーライン上にいた生徒が全員「合格」という結果を手にもすることも多々あることなのです。どうしてなのか、どんな力が働いているのか、ほんとに不思議です。

しかし、実はすごく納得できる部分もあるのです。「みんなで受験を乗り切ろう!」という学級は、お互いで教え合い相談し合える空気が教室に漂っています。だから、みんな「僕は、クラスの一員なんだ。みんなで頑張ってきたんだ」「決して一人ではない。みんなと一緒になんだ」という思いがあるのです。その思いが、一人ひとりの最高の力を発揮させるのだと思います。これって「雁の群れ」と同じだと思いませんか? クラスの中で、「諦めない」という決意と「逃げない」という覚悟を決めたとき、きっと新しい、希望のもてる状況が生まれてくるはず。同じ立場・状況にいるたくさんの仲間と助け合い、励まし合いながら、受験突破という未来を開く壁を乗り越えていってほしいと願うばかりです。

1・2年生も3年生の背中を見て、学習に部活動に向き合い、今まで以上にしっかり取り組んでほしいと思います。日々の積み重ねこそが、1年後、2年後の進路選択につながります。3学期は、「1年のまとめの学期」とすると同時に、「次年度への準備の学期」です。だとすれば、これまでやり残した課題をきちんとクリアして新学年を迎えることです。したがって、とても重要な学期だと言えます。幸せ(目標の実現)は、準備された心に訪れるものです。つまり普段からの努力が何よりも自分の力となり、自信に繋がるということ。その気になればきっとできるはず。大いに期待しています。

### 「意志あるところに道は開け 努力あるところに希望は叶う」

結びに、保護者・地域の皆様には、謹んで新年のお喜びを申し上げます。今年も昨年同様、村岡中生の健やかな成長を願って、皆さまのご協力とご支援をいただきますようよろしくお願い致します。至らない点もあるかと存じますが、教職員一同、今年も気持ちを新たに力を合わせ、精一杯教育活動に精進してまいりたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(文責:才田 覚)

あらたまの年の若水 汲む今朝は そぞろにもの 嬉しかりけり 樋口一葉  
(元日の朝、心新たに清らかな若水(元日に初めて汲む水)を汲む時、何とはなしに心嬉しい気持ちが湧き上がる)

### すごいぞ! 村岡中生 めざましい活躍!

☆兵庫県中学校新人卓球大会 (12/26・27 加古川市立日岡山体育館)

【男子団体】

2回戦 VS 自由が丘(東播) 3-0  
3回戦 VS 東 浦(淡路) 3-0  
4回戦 VS 荒 牧(阪神) 3-1  
準決勝 VS 加古川中部(東播) 2-3

【女子団体】

2回戦 VS 垂水東(神戸) 3-1  
3回戦 VS 園 田(阪神) 1-3

第3位!

【男子シングルス】

田中 瑠紀(2年) 優勝!  
今岡 功貴(2年) 2回戦敗退  
中村 駿汰(1年) 1回戦敗退

【女子シングルス】

岡本 華望(1年) 準優勝!  
坂本 愛(1年) 1回戦敗退

【男子ダブルス】

輪達 裕斗(2年)・今井 一步(2年) ペア 3回戦敗退

【女子ダブルス】

森垣 舞香(2年)・西垣 里虹(2年) ペア 2回戦敗退



☆2019日本海スポーツ賞

最優秀賞 中村 祐希(3年) 全中5位・全日本選抜優勝・全日本選手権準優勝等により

☆兵庫県アンサンブルコンテスト但馬地区大会 (12/28 和田山ジューターホール)

銀 賞 管打八重奏「サンバ大江戸」 香美町立村岡中学校

《 村岡中学校HP <http://muraoka-jhs.kami-hyogo.ed.jp/> 》

